

国語科 「読むこと」の学習指導事項系統

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
図書資料の特徴を利用して読む		1 目次などを参考にして読む。	1 目次などを参考にして読む。	1 目次や索引，前書きなどを利用して読む。	1 目次や索引，前書きなどを利用して読む。	1 本のさまざまな部分(序文・前書き・はしがき・あとがき・目次・索引・凡例・帯等)を利用して，効果的に見つける。
様々な読み方を生かして読む	1 正しく行をたどって読む。	2 目的に応じて，音読や黙読など様々な読み方を意識して用いる。	2 目的に応じて，音読や黙読など読み方を意識して用いる。	2 目的に応じて，音読や黙読，速読や比べ読みなど様々な読み方を意識して用いる。	2 目的に応じて，音読や黙読，速読や比べ読みなど様々な読み方を意識して用いる。	2 目的や意図に応じて，音読や黙読，速読や重ね読み・比べ読みなど様々な読み方の効果を意識して用いる。
本を選ぶ	2 興味をもとに本を手にとる。 3 自分が調べたい事柄に関する本を選ぶ。	3 自分が興味をもっている本を見付ける。 4 自分が調べたい事柄に関する本を選ぶ。	3 図書室で読みたい本を見付ける。 4 自分の興味を持っていることについて，読み物を選択する。	3 図書の分類を利用しながら図書資料を見付ける。 4 目的に応じて，必要な資料を探したり，選んだりする。	3 図書の分類や検索機能等を利用してしながら図書資料を見付ける。 4 目的に応じて，必要な資料を探したり，選んだりする。	3 図書の分類や検索機能等を利用してしながら，より多くの種類の図書資料の中から，読みたい本を見付ける。 4 目的や意図に応じて，必要な資料を探したり，選んだりする。
図書を活用する						
目的的に読む		5 情報や知識を得るために本を読む。	5 情報や知識を得るために本を読む。	5 自分の考えを深めたり広げたりするために，辞書・事典などの図書を読む。	5 考えを深めたり広げたりするために，辞書・事典などの図書を読む。	5 考えを深めたり広げたりするために，主とする情報だけでなく，補助的な図書も読む。 6 目的や意図に応じて，多くの図書資料の中から必要な情報を読みとる。
読書の幅を広げる	4 絵本などを中心に，入門書的な読み物を娯楽のために読む。	6 簡単な読み物や図鑑などを娯楽のために読む。	6 簡単な読み物や科学的な読み物を楽しんで読む。 7 目的に応じていろいろなジャンルの読み物を読む。	6 さまざまな文種の図書資料に，興味・関心をもって読む。	6 意識して多種多様な図書を読むに興味を持って読む。	7 それぞれの図書の特徴や効果を自覚しながら意図的に読む。

国語科 「読むこと」の学習指導事項系統

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
正 確 に 読 む	5 時間や事柄を表す言葉に気を付けて読む。	7 時間や事柄の順序を表す言葉をとらえて読む。  8 絵や文の前後の関係を手掛かりにして、言葉の意味などを理解する。	8 接続語、文末、繰り返し語句など、文脈における言葉の意味をとらえる。	7 中心となる語や文をとらえる。  8 前後の文脈から、ことばの意味をとらえる。	7 効果的な語句の使い方や文末の表現の工夫をとらえる。  8 前後の文脈から、ことばの意味をとらえる。	8 分からない語句の意味も、文脈に即して正しくとらえる。  9 語句の使い方、文末の表現を手がかりに筆者の主張や表現の工夫をとらえる。
	6 言葉や文のつながりを意識する。	9 文や文章の順序性やまとまりを意識する。	9 文章全体における段落の役割に気付く。	9 段落相互の関係をとらえる。  10 文章全体の簡単な組み立てに気づく。	9 文章の構成の工夫や、内容の軽重を理解する。	10 文章構成の効果を考え、文章の全体の組み立てを素早く理解する。
	7 短い文や文章のだいたいの意味が分かる。	10 時間や事柄の順序性に着目し、あらすじをとらえる。	10 段落の要点をとらえる。	11 目的に応じて、内容をある程度短くまとめる。	10 目的や意図に応じて内容を要約する。	11 目的や意図に応じて内容を要約したり、敷衍したりしてまとめる。
想 像 し な が ら 読 む	8 場面の様子を思いうかべながら読む。  9 具体的な表現から想像を広げる。  10 登場人物の心情に注意して読む。	11 場面の移り変わりを思いうかべながら読む。  12 行間や続きをもとにして想像を広げる。  13 登場人物の心情の移り変わりを想像する。	11 場面の移り変わりを深くとらえる。  12 行間や続きをもとにして想像を広げる。  13 登場人物の心情の移り変わりを想像する。	12 詩や物語に描かれている自分なりのテーマを読みとろうとする。  13 場面の情景を豊かに想像する。  14 登場人物の心情を深くとらえる。	11 詩や物語を、自分なりに読みとろうとする。  12 場面の情景と登場人物の心情とを結びつけて、豊かに想像する。	12 詩や物語について、自分なりの考えを深く考えることができる。  13 もう一つ奥にある意味をとらえながら、情景や登場人物の心情を読む。
	ことばに対して関心を高める	14 文の好きなところや、おもしろいところを見付ける。	14 情景など、好きな表現やおもしろいところを見付ける。	15 使われている言葉の違いによる文意の微妙な違いに気付く。	13 使われている言葉の違いによる文意の微妙な違いに気付き、そのよさを味わう。	14 言葉の使い方に対する感覚を磨き、その味わいを深める。

国語科 「読むこと」の学習指導事項系統

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
創造的に読む	筆者に心を寄せて読む 11 自分の生活とことばとを結び付けながら読む。	15 経験と文章の内容とを結び付けながら読む。	15 自分の経験や気持ちと重ねながら読む。	16 筆者の描き出す世界や考えの奥深さに気付く。	14 筆者の描き出す世界や考えの奥深さを見出していく。	15 筆者の描き出す世界や考えの奥深さや豊かさや暖かさにふれ、感動する。
	読みとった内容や筆者に対して考えをもつ 12 読みとった内容について、自分なりの感想をもつ。	16 読みとった内容全体について、自分なりの感想をもつ。	16 読み取った内容全体について、自分なりの感想や意見をもつ。	17 筆者と自分の考えとの異同を意識しながら読む。	15 筆者の意見やテーマに対して自分はどうか考えるのか意識しながら読む。	16 筆者の感想・意見を生かして、自分の考えを深める。
	他者の読みにふれて考えをもつ 13 友達の感想や意見などにふれる。	17 友達の感想や意見にふれ、自分との違いに気付く。	17 友達の感想や意見にふれ、自分との共通点・相違点に気付く。	18 友達の感想や意見を生かし、自分なりの感想や意見を深める。	16 多様な友達の意見を生かし、自分との共通点・相違点を読み分けるなどして、自分の考えを深める。	17 多様な視点から他者と交流し、自分らしさや自分の位置を見出す。
音読・朗読	音読 声に出す読み（理解） 14 言葉のリズムや響きを楽しむ。 15 友達の前で読む。	18 言葉のリズムや響きのよさを楽しむ。 19 大勢の前ではっきりと声を出して読む。	18 意味のまとまりや、場面の様子がよく分かるように、音読する。 19 大勢の前ではっきりと声を出して読む。 20 聞き取りやすいように、すらすらと音読する。	19 他人を楽しませたり、情報を伝えたりするために、明快な発音でなめらかに音読する。	17 他人を楽しませたり、情報を伝えたりするために、明快な発音でなめらかに音読する。	18 他人を楽しませたり、情報を伝えたりするために、その効果を考えながら、明快な発音でなめらかに音読する。
	朗読 声に出す読み（表現） 16 声に出して読むこと慣れる。	20 声を出して読むことを楽しむ。	22 声を出して読むことを楽しむ。	20 豊かに声に出して読むことを楽しむ。	18 豊かに朗読することを楽しむ。	19 朗読を通して、作品のよさを味わう。

国語科 「読むこと」の学習指導事項系統

		1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
態度	読書への態度	17 簡単な本や絵本を楽しんで読む。	21 興味深い本を楽しんで読む。	23 進んでいるいろいろな本を読む。	21 良書に対する関心を持ち、読みたいと思う本が何冊かある。	19 さまざまな文種の良書や長文を意欲的に読もうとする。	20 自分の生活（生き方）に関わる事として読む。
	読書記録をする	18 生活の中で、定期的に読む時間が位置づくようにする。	22 生活の中で、定期的に読む時間を位置付ける。	24 生活の中で、定期的に読む時間を位置付ける。	22 生活の中で、読書をする習慣を身に付けたり、自分なりに工夫する。	20 生活の中で、読書をする習慣を身に付けたり、自分なりに工夫する。	21 テーマを持ち、自分なりの読書生活を豊かにしようとする。
		19 読んだ本の名前を記録する。	23 読んだ本の名前や筆者を記録する。	25 読んだ本の名前や筆者を記録する。	23 読んだ本を、感想をまじえて記録する。	21 読書の記録を工夫しようとする。	22 読書の記録を生かそうとする。